

CDEL埼玉(埼玉県糖尿病相談員)の理念

わが国の糖尿病患者数は激増し、2016年の国民健康栄養調査では、糖尿病が強く疑われる者が1,000万人、糖尿病が否定できない者が1,000万人に達しました。一方、診療にあたる日本糖尿病学会の専門医は、2020年現在で6,100名余に過ぎません。できるだけ多くの糖尿病患者さんにより専門的で質の高い医療を提供する目的で、2000年(平成12年)に日本糖尿病療養指導士認定機構が設立され、「糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を有し、医師の指示の下で患者に熟練した療養指導を行うことのできる医療従事者」を「日本糖尿病療養指導士」(Certified Diabetes Educator Japan : CDEJ)として認定するための認定試験が始まりました。2022年で18,591名のCDEJが認定され、各地の医療機関で、糖尿病患者さんがよりよい治療を受けられるよう活躍しております。

しかしながら、「日本糖尿病療養指導士」(CDEJ)は、糖尿病専門医が勤務する大病院に勤務することが多く、実地医家で糖尿病患者さんの診療を補助して療養指導をするためのマンパワーは十分ではありません。このような状況を鑑み、埼玉県糖尿病協会では2016年(平成28年)から糖尿病に関する知識と技術を学んでいただいた方々に、**埼玉県糖尿病相談員(Certified Diabetes Educator Local : CDEL埼玉)**という資格認定を開始しました。医師の指導の下、看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・医療事務など、様々な職種の方々の**CDEL埼玉**がチーム医療を行うことにより、埼玉県内の糖尿病患者さんがよりよい治療と療養指導を受けられるよう、埼玉県糖尿病協会は努めて参ります。

CDEL埼玉に、皆様のご理解をいただき、一人でも多くのメディカルスタッフにご参加をいただきますようお願い申し上げます。